

都市大 あす上田西と決勝



高校サッカー

第93回全国高校サッカー選手権大会県大会は8日、松本市の総合球技場アルウィンで決勝が行われ、3年ぶり3回目の優勝を狙う都市大塩尻が、上田西と対戦する。両チームとも得点力が高く、全国切符を懸けた激しい戦いが予想される。

都市大塩尻の最大の魅力はサイドを基点に崩す攻撃力だ。準決勝の松商戦では3ゴールと本領を發揮した。攻撃の鍵を握るのが右サイドハーフの

これまでの戦績

都市大塩尻		上田西	
2 回戦	3-0 須坂東	2 回戦	10-0 下諏訪陽
3 回戦	7-0 上田染谷	3 回戦	3-0 赤穂
4 回戦	7-1 上田千曲	4 回戦	4-1 東海大三
準々決勝	1-0 松本第一	準々決勝	5-2 上田
準決勝	3-1 松商	準決勝	2-0 創造学園

※ともに1回戦はシード



鈴木夢都(3年)で、50秒のスピードと足のテクニックに優れ、ここまで4ゴールと決定力もある。昨年は決勝の舞台で涙をのんでいるだけに「悔しさを晴らしたい」と闘志を見せる。

決勝に向けて調整する都市大塩尻の鈴木(中央)

対する上田西は激戦ブロックを勝ち上がってきた。県総体覇者の東海大三や創造学園などを撃破し、勢いに乗る。フィジカルが強く体を張った守備が持ち味で、ボール奪取からのカウンターも鋭い。

都市大塩尻の高橋裕之監督は「攻守の切り替えを速くし、サイドで優位に立ちたい」と見据える。上田西にはここ数年、リーグ戦も含めて勝っていない。山元健志主将(3年)は「苦手意識はある」と認めつつ「それは気にせず、躍動感のあるサッカーで優勝したい」と意気込んでいる。

決勝は正午のキックオフとなる。(山浦雄一郎)

■この記事・写真等は市民タイムスの許諾を得て転載しています。無断で複製等、著作権を侵害する一切の行為を禁止します。